

『粟生町活性化まちづくり協議会』だより

第7号 (平成27年10月発行)



秋常山古墳より粟生方面を望む

めっきり秋らしくなった10月11日に第4回ほほえみくらぶが開催されました。寺井地区一周駅伝大会と重なり、早めの8時スタートのせいもあってか、わずか16名の参加にとどまりました。末寺道を通り、秋常山古墳を見学し、新保町を經由して帰るという、約3.5kmを約1時間で歩くコースでした。天気にはあまり恵まれませんでしたが、雨に会うこともなく、全員が完歩。到着後しばらくで駅伝選手を迎えることになりました。次回のほほえみくらぶ開催時にはより多くの人々の参加をお待ちして居ります。



秋常山古墳では9月23日に古墳祭りが行われ、例年通り粟生小学校の6年生が大王と武漢と巫女に扮して、神事がおごそかにとり行われ、粟生保育園児の歌も奉納されました。



国指定史跡 秋常山古墳群
Akitsukeyama Kofun Group National Historic Site

秋常山古墳群は、昭和59年(1984)に発見され、平成3年(1991)から測量、発掘調査が行われました。調査の結果、1号墳は全長約140mの前方後円墳で、石川原最大。北壁でも最大規模となることがわかりました。墳丘斜面には手取川の河原石を並べ、東側くびれ部の遺出からは赤く塗った小型の土師器高杯が出土しています。造られた時期は4世紀後半頃と考えられ、約1000年前、加賀地域の広範囲に影響をもつ首長が絶頂の地にいたことを示しています。

2号墳は南北約27m、東西約32.5mの方墳で、墳頂部の四方には埴輪がめぐっていたと推定されます。埴輪舞臺の発掘調査も行われ、木柵を粘土で覆う「粘土版」から副葬品として鉄刀・刀子・針・髪櫛・白玉が出土しました。造られた時期は5世紀前半頃と考えられます。

秋常山古墳群は加賀地域の古墳時代の解明にとって、欠くことのできない重要な遺跡として、平成11年(1999)、国史跡に指定されました。その後、平成16～22年度にかけて保存整備工事が行われ、史跡公園として保全されています。

The Akitsukeyama Kofun Group comprises tumuli for military rulers built approximately 1,500 years ago. The No. 1 Tumulus is keyhole shaped, with a square front and a circular rear. Measuring about 140 meters in length, it is the largest tumulus of the Hokuriku region. The No. 2 Tumulus is square shaped with each side measuring about 30 meters. Iron swords and other burial accessories have been found on the grounds. Owing to its importance, the Akitsukeyama Kofun Group has been designated a national historic site of Japan.

みんなの大切な文化財です。ルールを守って利用しましょう。

史跡秋常山古墳群 案内係 粟生市教育委員会
お問い合せ先 粟生市立歴史民俗資料館 TEL.0761-58-8100



古墳祭りの祭典